

平成 30 年度事業報告

特定非営利活動法人久屋大通発展会

I 事業実施の概略

1 目的

特定非営利活動法人久屋大通発展会は、名古屋の中央部に位置する久屋大通公園を中心としたエリアにおいて、地域に集積する歴史文化や産業技術を核として「元気な日本の文化・観光」に関する情報発信を行うことにより、東海地域のみならず国内外の新たな交流拠点として活力あるトレンドを創出していくことを目的とする。

また、当該エリアの美観の維持・向上をめざし、交流拠点としてまた観光資源としての位置づけをより明確にし、魅力あるまちづくりを推進するとともに、地域に存在する芸術文化の萌芽を育てることで「あたらしい芸術文化」の創造・発展に寄与することを目的とする。

上記を通して会員間の連携を図ることとする。

2 背景

2005 年に開港した中部国際空港による集客力の向上や愛・地球博開催に伴う知名度の向上、おもてなしノウハウの蓄積、これらによる集客交流産業の活性化を重要な資産ととらえ、新たに生まれた交流をより継続的なトレンドへと導引するとともに、地域集積する日本を代表する歴史文化や産業技術を核に名古屋の活力を原動力として、日本各地に存在する次代の芸術文化の萌芽を育てること「あたらしい芸術文化の創造・集客交流産業の活性化」を図る。

また、久屋大通公園を核にしたエリアの美観の維持・向上をめざし、交流拠点としてまた観光資源としての位置づけをより明確にし、魅力ある街づくりを推進する。

3 事業展開

- ① 久屋大通公園を中心とした魅力あるまちづくり
- ② 地域の芸術文化の創造・発展に寄与する活動
- ③ 国際交流の活性化及び観光推進に寄与する活動
- ④ 上記に関連する調査、研究活動
- ⑤ 上記に関連する広報、研究活動
- ⑥ ①～④を推進するイベントの実施

II 事業の実施に関する事項

1. 栄地区の連携を図る活動

久屋大通公園及び沿道側の賑わい創出、活性化を図る。また、名古屋市による栄地区グランドビジョン計画に基づく具体化計画への参加、協力を進めるとともに周辺地域の連携をはかった。

2. 名古屋市の久屋大通再生社会実験への参画

- ・久屋大通公園の一部緑地帯を花壇に変更し協賛社を募り収益性の検証を行った。(26 年度から継続して実施) アダプトガーデン

開催日 : 通年 (年 4 回活動)

3. イベントなどの事業の実施

①栄ミナミ音楽祭 久屋会場

今年で12回目を迎えた「栄ミナミ音楽祭」の久屋大通会場として実施。栄全体を中心に名古屋全体を盛り上げるイベントとして栄ミナミ、大須、名駅などと連携して実施した。

開催日 : 平成30年5月12日(土) 13日(日)

②音楽の祭日 2018

アリアンスフランセーズ協会の協力の下、フランス音楽祭を再現して実施。テレビ塔の下は終日賑わった。

開催日 : 平成30年6月24日(日)

③名古屋 ShakeOut

栄地区を中心とした ShakeOut 防災訓練を9月11日に実施。今年で7回目となり参加企業や参加者が増え、訓練できた。テレビ塔下、オアシス21銀河の広場を中心会場として実施。また、今年も岐阜県美濃加茂市の協力で災害用備蓄飲料水「みのかもの水」の配布も行った。

愛知県警の協力によりテロ対策も実施した。

実施日時 : 平成30年9月11日(火) 14:00~15:30

④ニコニコ町会議 in 名古屋・栄

今年で7回目となる動画サイト「ニコニコ動画」の生中継イベント。会場はテレビ塔下を中心に北側駐車場含め実施した。動員3万9千人

開催日 : 平成30年9月23日(日)

⑤ソーシャルタワーマーケット

「テレビ塔のあるまちに新しいカタチの社交場を」をコンセプトに7回目の開催となった。「もちのき広場」～「ロサンゼルス広場」と会場面積、店舗数を前年よりも拡張した。天候にも恵まれ賑わいを創出できた。秋の久屋大通公園に陽気な社交場を作り上げた。

開催日 : 平成30年10月13日(土) 14日(日)

⑥ハワイアン・ドリーム・イン名古屋 2018

今年で9回目。会場をテレビ塔下、もちのき広場の2カ所に拡大し準備をしたが台風接近のために前日に中止を決定した。

開催日 : 平成30年9月30日(日)

⑦パンマルシェ

オープン前から大勢の来場者が列を連ねた。昼前から本格的な雨が降ったが、30,000人というイベント屈指の来場者があった。パン好きコミュニティお気楽パン会から生まれたプロジェクトで久屋大通公園での実施は4回目。

パンマルシェ実行委員会との共同で実施。

開催日 : 平成30年11月4日(日)

⑧栄まちじゅう音楽広場

愛知県吹奏楽連盟と共催して吹奏楽、マーチング、ジャズ、アンサンブルと多彩なジャンルから前年度を超える 18 団体 600 名の参加で開催。前年度に引き続き、オアシス 21 を中心としてもちの木広場やセントラルパーク園路ではパレードも実施し、地域イベントとして今後の発展的典型への第 1 歩となった。

開催日 : 平成 30 年 11 月 3 日 (土)

6. イベント事業の調査研究を行った

大型イベント実施に向け調査研究と協賛企業などの協力者との連携を図るためのネットワークづくりを行った。

7. 広報活動

- ・HPの充実を図った。
- ・HISAYA ニュースの発行(年 2 回)

8. 地域活動の充実を図る

①クリーンアップアクション

毎月 1 回 (第 3 火曜日) の久屋大通公園及び沿道の清掃活動を行った。9 月と 3 月には栄の皆さんに呼びかけ大規模に実施した。年間 12 回実施した。

②放置自転車などの整理と啓発活動

毎月 1 回 (第 1 火曜日) に久屋大通の歩道側 (錦通りから桜通の先) の自転車対策としてエフを設置し駐輪所への誘導、マナー啓発を行った。1 回分雨天中止となったが、計 11 回開催した。

9. 総会

開催日 : 6 月 19 日 (火)

会場 : 名古屋テレビ塔 会議室

10. 会員懇親

- ・夏の懇談会を実施
開催日 : 平成 30 年 7 月 17 日 (火)
会場 : パークバンケット
- ・新年懇親会を実施
開催日 : 平成 31 年 1 月 28 日 (月)
会場 : 銀座アスター賓館

11. 会員拡大事業

新しい参加者募集を推進し、活動の充実を図った。

12. 行政への協力

名古屋市などの行政課題に向けた協力及び参加を積極的に行った。

Ⅲ. 役員会

4月26日(木)
6月11日(月)
8月30日(木)
10月12日(金)
12月13日(木)
1月23日(水)
3月22日(金)

企画委員会

4月23日(月)
5月28日(月)
6月25日(月)
7月23日(月)
8月27日(月)
9月25日(火)
10月22日(月)
11月26日(月)
12月17日(月)
1月21日(月)
2月25日(月)
3月25日(月)

企画委員会ではエリアマネジメントについて、まちづくり構想案を検討した。

以上

活動計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
特別企業会員 受取会費	2,044,000	
賛助企業会員 受取会費	540,000	
正会員 受取会費	63,000	2,647,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	0	0
3. 受取助成金等	449,064	449,064
4. 事業収益	0	0
5. その他収益		
受取利息	8	8
経常収益計		3,096,072
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
協賛費等	2,912,581	
栄ミナミ音楽祭協賛	500,000	
栄まちじゆう音楽広場協賛	200,000	
名古屋ShekeOut協賛	250,000	
モニュメント維持費	181,200	
HISAYAニュース	500,000	
アダプトガーデン	500,000	
広報活動事業	498,960	
親睦活動費等	282,421	
通信運搬費	0	
旅費交通費	0	
消耗品費	0	
減価償却費	0	
雑費	0	
その他経費計	2,912,581	
事業費計		2,912,581
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	0
(2) その他経費		
事務局費	272,160	
会議費	12,460	
旅費交通費		
通信運搬費	30,394	
消耗品費	19,085	
水道光熱費	21,617	
支払手数料	24,408	
減価償却費	0	
租税公課	47,500	
雑費	0	
その他経費計	427,624	
管理費計		427,624
経常費用計		3,340,205
当期経常増減額		△ 244,133
III 経常外収益		
1. 過年度損益修正益		0
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
1. 過年度損益修正損		0
経常外費用計		0
経理区分振替額	0	0
前期繰越正味財産額		572,022
次期繰越正味財産額		327,889

※その他の事業について、実施はありません。

貸借対照表

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人 久屋大通発展会

単位:円

科目・摘要	金額		
I資産の部			
1流動資産			
現金預金	354,825		
未収金	473,064		
前払金	0		
流動資産合計		827,889	
2固定資産			
創立費	0		
什器備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			827,889
II負債の部			
1流動負債			
未払金	500,000		
未払費用	0		
前受金	0		
預り金	0		
流動負債合計		500,000	
2固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			500,000
III正味財産の部			
前期繰越正味財産		572,022	
当期正味財産増減額		▲ 244,133	
正味財産合計			327,889
負債及び正味財産合計			827,889

注1) 固定資産に関する減価償却計算の方法は、以下のとおり

1. 什器備品 定率法 2. 創立費 期首残高一括償却

※ 設立初年度は、「前期繰越正味財産額」の項目は、「設立時資金有高」となります。

財産目録

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人久屋大通発展会

(単位:円)

科目・摘要		金額	
I資産の部			
1流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	281,807	
普通預金	三菱東京UFJ銀行 栄町支店	72,578	
普通預金	ゆうちょ銀行	440	
未収金			
特別企業会員	会費	0	
賛助企業会員	会費	24,000	
正会員	会費		
助成金等		449,064	
流動資産合計			827,889
2固定資産			
創立費			
		0	
什器備品			
		0	
固定資産合計			0
資産合計			827,889
II負債の部			
1流動負債			
未払金			
		500,000	
未払費用			
		0	
	WEB制作費用	0	
	からくり時計保守点検費	0	
前受金			
		0	
預り金			
		0	
流動負債合計			500,000
2固定負債			
長期借入金			
		0	
固定負債合計			0
負債合計			500,000
正味財産			327,889